

静電気ルーレット

「静電気」というと、「びりびりする」「痛い」など、よくないイメージがあります。でも、利用して遊べば、これほど楽しいものはありません。

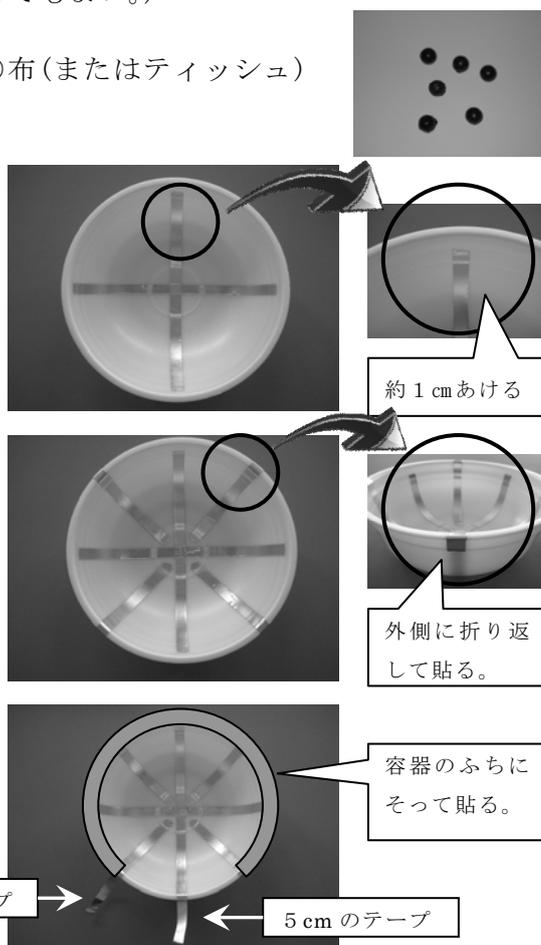
ここでは、家庭にあるもので簡単に作れるおもちゃ「静電気ルーレット」を紹介します。静電気によって、容器の中の発泡スチロール球がぐるぐる回り、感激すること間違いありません

材料と準備物

- カップ麺の容器(口が広くて浅いもの。底の凹凸が少なく滑らかなものがよい。)
- アルミテープ(1 cm幅。文房具店に売っているカラフルなものを使うときれい。)
- 発泡スチロール球(直径1 cm以下。なければ、仁丹でもよい。)
- 墨汁 ○合成洗剤少量
- ハサミ ○塩化ビニールパイプ(塩ビ管) ○布(またはティッシュ)

作り方

- ①墨汁に合成洗剤を少し混ぜ、発泡スチロール球に塗った後、よく乾かす。
- ②カップ麺の容器の内側に、アルミテープを[十文字]に貼る。
※この時、テープは容器のふちから1 cmくらいあけて貼る。
- ③[十文字]にくっつかないように、[米の字]に4本のアルミテープを貼る。
※中心の方の端は、先を丸く切り、十文字から少し離れるようにして貼る。
※外側は、容器のふちから1 cmくらい出る長さにし、外に折り返して貼る。
- ④外に折り返した4本のアルミテープに触れるように、容器のふちにそってアルミテープを貼る。
- ⑤十文字に貼ったアルミテープの一本に5 cm程度のアルミテープを、また、外に折り返して貼った4本のアルミテープの一本には10 cm程度のアルミテープを付け足す。



遊び方

- ①容器に玉を入れる。
- ②付け足した10 cmのアルミテープの端を机に貼る。
- ③5 cmのテープを空中に伸ばし、端がビラビラと動くように、塩ビ管を布でこする。

ワンポイントアドバイス

- 空気が乾燥している冬に遊ぶと、発泡スチロール球がよく回ります。
- 毛布を使うなど、布をいろいろ替えてみましょう。静電気がたくさん発生するほど、中の発泡スチロール球はよく回ります。

参考文献 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~gongons/kagakunowadai.htm>